

平成26年度第3回SPODネットワークコア運営協議会 議事次第

日 時：平成26年6月24日（火） 16：00～17：15

場 所：愛媛大学 愛大ミューズ3階会議室

議 題：

1. SPOD事業評価について

- ・平成25年度SPOD事業評価委員会からの指摘事項に対する対応策について（案） 【資料1】
- ・平成25年度SPOD事業の評価について 【参考資料1】

2. SPODフォーラムについて

- ・SPODフォーラム2014チラシ 【資料2-1】
- ・SPODフォーラム2014シンポジウム実施要項（案） 【資料2-2】
- ・SPODフォーラム2014シンポジウムシラバス（案） 【資料2-3】
- ・展示スペース等の設置について（案） 【資料2-4】
- ・SPODフォーラム2014アンケートフォーム（事前）（WEB用） 【資料2-5】
- ・SPODフォーラム2014アンケート（個別プログラム用） 【資料2-6】
- ・SPODフォーラム2014アンケートフォーム（事後）（WEB用） 【資料2-7】

3. ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップへの後援について

- ・JACETアカデミック&ティーチング・ポートフォリオ研究会からの依頼文書 【資料3-1】
- ・ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ（西四国）実施要項（案） 【資料3-2】
- ・JACETアカデミック&ティーチング・ポートフォリオ研究会規約 【参考資料2-1】
- ・JACETアカデミック&ティーチング・ポートフォリオ研究会メンバー一覧 【参考資料2-2】
- ・一般社団法人大学英語教育学会定款及び学会運営規程 【参考資料2-3】

4. 次世代リーダー養成ゼミナール（第2回）の開催について

- ・次世代リーダー養成ゼミナール（第2回）実施要項 【資料4】

5. 学務系職員養成プログラム研修（レベルⅠ）の開催について

- ・学務系職員養成プログラム研修（レベルⅠ）実施要項 【資料5】

6. その他

平成26年度 第3回ネットワークコア運営協議会出席者名簿

大学名	所 属	氏 名	担当
徳島大学	総合教育センター 教育改革推進部門 講師	吉田 博	FD
	総合教育センター 教育改革推進部門 特任研究員	上岡 麻衣子	FD
	総務部人事課長	関谷 直樹	SD
	総務部人事課課長補佐	沖津 貴司	SD
香川大学	大学教育開発センター調査研究部 准教授	佐藤 慶太	FD
	教育・学生支援室修学支援グループ チーフ	石井 さおり	FD
	経営管理室給与福利グループ リーダー	松永 京一	SD
	経営管理室給与福利グループ チーフ	川池 晃子	SD
高知大学	総合教育センター大学教育創造部門 教授	塩崎 俊彦	FD
	総合教育センター大学教育創造部門 准教授	立川 明	FD
	総合教育センター大学教育創造部門 講師	俣野 秀典	FD
	人事課課長補佐	川崎 美保	SD
	学務課総合教育センター事務係長	武内 智之	事務
	学務課総合教育センター事務係 事務補佐員	石川 愛	事務
愛媛大学	教育・学生支援機構副機構長／教育企画室長	小林 直人	FD
	教育企画室副室長	山田 剛史	FD
	教育企画室助教	清水 栄子	FD
	教育企画室総合情報メディアセンター教育デザイン室長 講師	仲道 雅輝	FD
	教育企画室 特定研究員	林 真弥	FD
	教育企画室副室長	秦 敬治	SD
	教育企画室兼広報室副室長 講師	阿部 光伸	SD
	教育企画室特任助教	丸山 智子	SD
	総務部長	西尾 澄気	FD
	教育学生支援部長	吉田 一恵	SD・事務
	教育企画課副課長	織田 隆司	SD・事務
	教育企画課教育企画チームリーダー	濱元 悠子	事務
	教育企画課教育企画チームサブリーダー	山内 ちあき	事務
	教育企画課能力開発室	秋山 裕佑	事務
	教育企画課教育企画チーム	戸田 裕香	事務
	教育企画課教育企画チーム	三好 歌織	事務
	教育企画課教育企画チーム	神谷 敦子	SD・事務
	教育企画課教育企画チーム	川井 順子	SD・事務

平成25年度SPOD事業評価委員会からの
指摘事項に対する対応策について（案）

■事業評価委員会からの意見まとめ

※別紙（第2回ネットワークコア会議資料1－1）参照

■平成26年度第2回ネットワークコア会議での意見交換の内容

【事業評価委員会のあり方について】

- ・事業評価委員会は数年に1回でいいのではないかと（例えば3年に1回）。
- ・事業評価委員会での説明が不足している。現在の事業評価は、各委員個人の観点が強く出ているようであり、FD・SD各事業の説明に時間をかけるべきではないかと（例えばFD・SD各事業に1日費やす）。時間をかけて事業内容等を説明し、SPODの方針やビジョンを理解していただいた上で評価してもらうことが必要なのではないかと。
- ・事業評価委員会の時間が短い気がする。委員会の実施回数を減らしたり、時間をかけて実施することによって、出た意見にその場で回答する（反論する）ことも可能であるかもしれない。
- ・委員からの指摘にあるように、単年度の評価に振り回されないようにするべきである。

【SPOD事業について】

- ・田中先生からの意見にもあるが、経年で各加盟校や教職員の参加者数をまとめ検証し、各校のニーズやSPODの活用度を把握するべきである。
- ・沖先生の意見にあった「事業マップ」の作成は重要な意見である。
- ・経年で参加者の比較やアンケートを実施することも必要である。
- ・SPOD事務局、SPOD加盟校の省力化も検討の必要があるのではないかと。
- ・SD研修に関して「職員の研修（トレーニング）にとどまらず、資質開発（ディベロップメント）を行うことは、各職員個人のキャリア形成へ介入することにつながる可能性があり、プログラムを主導する側の責任は重い。そうしたプログラムは無意識のうちに私塾化する傾向を内包している」との意見について、提供する側としてその意図はないが、外部から見てそのように感じさせてしまっているということなのか、気になる意見である。

■事業評価委員会からの指摘事項のポイント（キーワード）

1. 事業の精選，事業マップ作成，SPODの目的・目標再設定
2. 省力化，負担軽減，負担分散
3. 各加盟校の状況把握
4. 効果検証，評価指標，経年評価

■今後の対応について

SPODでは「設立から6年を迎え、SPOD事業の方向性を見直す必要がある」との指摘を受け（平成24年度事業評価委員より）、平成25年度末に「SPOD将来構想ワーキンググループ（以下、将来構想WG）」を設置し、設立当初から拡大・深化している事業の統合と分化について、中長期的な検討を始めたばかりである。

今回事業評価委員からいただいたご意見は、将来構想WGにおいて検討予定の事項と重複するものが多い（平成25年度SPOD将来構想ワーキンググループ資料参照）。そこで、将来構想WGでの議論にあたっては、上記のポイント4点を加味した上で中長期的な検討を進めるということで、今回の指摘事項への対応としたい。

具体的には、以下のとおりである。

ポイント1（事業の精選、事業マップ作成、SPODの目的・目標再設定）は将来構想WGにおいて、最初に検討することである。その過程において、事業の精選が行われ、ポイント2（省力化、負担軽減、負担分散）への対応に繋がると考えられる。

また、ポイント1の検討にあたっては、ポイント3（各加盟校の状況把握）は不可欠と考えられるため、訪問調査を含めながら各加盟校への実態調査を実施する。

ポイント4（効果検証、評価指標、経年評価）については、平成25年度から「調査・研究プロジェクト」が本格的に始動され効果検証を始めているところであるが、その実施方法には検討の余地がある。ただし、そのためにはポイント1の議論が不可欠であり、その結果を踏まえた上で、単年度評価だけでなく経年評価を意識した中長期的な視点による評価指標や評価基準の明確化を図る。なお、これまで公表してきた過去の（単年度）評価について、全てを経年で分析することは現実的でないため、例えばSPODフォーラム等ターゲットを絞って検証する等、工夫して進める。

また、上記4ポイントとは別に、平成27年度からの事業評価委員会の在り方についても検討していく。

SPODフォーラム 2014



“気づき”と“振り返り”が大学を変える
～成長を確かなものにするために～

Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education

SPODフォーラムは... 大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD/SDプログラムならびに組織を超えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供します。

日時・場所

2014/ 8/27 (水) ▶ 29 (金) 高知大学 朝倉キャンパス

主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)／高知大学／愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

参加申込

事前申込制(先着順)

SPOD加盟校の教職員限定受付 2014年 6月27日(金)正午～7月11日(金)正午

一般受付 (SPOD加盟校の方も申込可) 2014年 7月15日(火)正午～7月29日(火)正午

申込はWEBから

<http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>
※申込開始時には各プログラムのシラバスがご覧になれます。

参加費※

SPOD加盟校の教職員

無 料

SPOD加盟校以外の教職員

7,000円

※懇親会費は除きます。

特徴

1

多彩な講師陣

先進的な教育改革で知られる大学のトップ、各大学のFDやSDの第一線で活躍する教職員やディベロッパー、職場の人材育成・能力開発分野で活躍するプロフェッショナルなど、多彩かつ魅力的な講師陣をそろえました。

特徴

2

職場で使える
実践型プログラム

講師と受講者の間でのインタラクティブなワークショップ形式のプログラムが数多く開講されます。参加者には、意見を出し合い知を共同で作り上げることが求められると同時に、職場ですぐに使える実践的なノウハウを持ち帰ることができます。

特徴

3

SDプログラムも
多数開講

SPODでは、FD(教員の能力開発)同様にSD(職員の能力開発)に力を入れており、他では体験できないプログラムを数多く開講しています。教育改善に関心のある多くの教職員の方の参加をお待ちしております。SDプログラムは教員の方も参加いただけます。

一参加者の声一

- 新しい色々な情報を得ることが出来て勉強になります。学んだことを自分の大学に合うように整理して、学内の教職員に伝えています。
- 授業で抱えている問題点が具体化されたことにより、業務において早速改善された部分があります。
- どの講座もグループでの活動が取り入れられていたため、ただ顔を合わせただけでなく、様々な情報や意見を聞くことができました。また初心者でも参加しやすい雰囲気だったのがありがたかったです。



主な交通機関

※駐車スペースはありませんので、公共交通機関の利用をお願いいたします。

はりまや橋から

- ・バスで約20分…「朝倉大学前(土電バス)」・「朝倉高知大学前(県交通バス)」下車
- ・路面電車で約30分…「朝倉(高知大学前)」下車すぐ

JR高知駅から

- ・バスで約25分…朝倉大学前(土電バス)・「朝倉高知大学前(県交通バス)」下車
- ・路面電車で約30分…「朝倉(高知大学前)」下車すぐ
- ・JR土讃線下り15分…「朝倉駅」下車徒歩3分



●お問い合わせ先

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局(愛媛大学教育企画課)

☎ 089-927-9154 ✉ E-mail spod@stu.ehime-u.ac.jp

●当日お問い合わせ先

高知大学学務課

☎ 088-844-8652

開催スケジュール

●申込み開始時には各プログラムのシラバスがご覧になれます。 <http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>

全体
受付

プログラムを受講する方は、必ず受講初日に全体受付を済ませてください。

■場所: 210番教室 ■時間: 8月27日(水)～29日(金) 9:00～



過去の資料等
はこちら

会場		共通教育1号館 125番教室	共通教育1号館 136番教室	共通教育1号館 141番教室	共通教育3号館 310番教室	共通教育3号館 311番教室	共通教育3号館 335番教室
1日目 8月27日(水)	1 10:00～12:00	FD・SD 共通 2701A 経験から学ぶ力を育てる ー成長を促す振り返りとは?ー 塩崎俊彦(高知大学) 60名	SD 2701B SDコーディネーター養成講座 秦敬治, 阿部光伸, 吉田一恵, 丸山智子 (愛媛大学), 米澤慎二(追手門学院大学) 他 32名	SD 2701C 研究支援職員としての基礎知識 ーゼロから始める研究者との協働ー 宮内卓也(高知大学) 28名		FD 2701E 大学版反転授業:TBLの手法 ー問題を作ってみようー 立川明(高知大学), 高畑貴志, 濱田美晴, 三島弘幸(高知学園短期大学) 40名	
	2 13:00～15:00		※本プログラムの申込みは、 事前課題の都合上、7月25日 (金)に締め切ります。	SD 2702C 若手職員に贈る 「仕事の魅力発見!!」講座 ー気づきから築くアクションプランー 次世代リーダー養成ゼミナール(4期生) 32名		FD・SD 共通 2702D 振り返りを活用した学生・教職員の ための効果的な能力開発手法 秦敬治, 山中亮, 林真輝 (愛媛大学) 48名	
	3 15:30～17:30	FD 2703A 教えずに学ばせる授業 ー自律学習プログラム入門ー 坂田浩(徳島大学) 60名					FD・SD 共通 2702F データに基づく教育改善の 視点と方法ー教学IR入門ー 山田剛史, 清水栄子 (愛媛大学) 40名
2日目 8月28日(木)	1 10:00～12:00	SD 2801A 職員向けマネジメントセミナー ーもし、あなたの大学にドロッカーが いたらー 秦敬治(愛媛大学) 60名	SD 2801B インストラクショナルデザイン (ID/教育設計)を活用した職員に よる企画・立案マネジメント 仲道雅輝(愛媛大学) 32名	FD 2801C ルーブリック評価入門 ー考える、つくる、活用するー 俣野秀典(高知大学) 40名	FD・SD 共通 2801D 絶対に達成する技術 ー成長する人の内省とはー 永谷研一(株式会社ネットマン) 48名	FD 2801E 大人数講義法の基本 小林直人(愛媛大学) 56名	FD 2801F 理工系講義形式授業の中で 学生を輝かせるひと工夫 吉田博(徳島大学), 榎原暢久(芝浦工業大学) 30名
	2 13:00～15:00	FD・SD 共通 2802A リーダーセミナーⅠ 「主体的な学び」を促進する カリキュラム・デザイン 佐藤浩章(大阪大学) 80名	FD・SD 共通 2802B 国際連携系職員養成プログラム (レベルⅡ)※ 留学生受入実践 バージン・ルース, 高橋志野 (愛媛大学) 40名	FD 2802C いろいろ・eラーニング・ワーク ショップ 竹岡篤永(高知大学) 40名	SD 2802D 部下・若手職員の育成 ー自ら学び成長するー 米澤慎二(追手門学院大学) 32名	FD・SD 共通 2802E 学びを促進するための学習支援と アカデミック・アドバイザー 清水栄子(愛媛大学) 40名	FD・SD 共通 2802F ツールを使ってコミュニケーション ー自己理解と他者理解ー 野口里美(香川大学) 28名
	3 15:30～17:30	FD・SD 共通 2803A リーダーセミナーⅡ われわれは どのような経営視点をもてばよいのか? ー大学のマネジメントを考えるー 大坪檀(学校法人新静岡学園理事長) 80名	※SPOD-SDマップに基づき開講される プログラムです。 32名	FD 2803C ジグソー学習法を用いた グループワークの進め方 村田晋也(九州国際大学) 30名	FD・SD 共通 2803D 大学防災マネジメント ー地域とおたがいさまの関係をつくるー 大槻知史(高知大学) 30名	SD 2803E 若手・中堅職員のための コーディネート力養成講座 仲道雅輝, 丸山智子(愛媛大学) 32名	FD・SD 共通 2803F 発達障がいについての基礎知識 と高等教育機関での支援体制に ついて考える 松本秀彦(高知大学) 30名
	18:00～20:00 懇親会 会場: 高知大学生生活協同組合 食堂スペース 会費: 4,000円(事前申込み制) ※懇親会后“はりまや橋”方面への移動バスがあります。						
3日目 8月29日(金)	1 10:00～12:00	FD・SD 共通 2901A 大学の危機管理 ー事例から考えるハラスメントー 阿部光伸, 清水栄子, 吉田一恵 (愛媛大学) 64名	FD 2901B 学生参加型授業入門 藤本佳奈(香川大学) 30名	FD・SD 共通 2901C プロジェクトマネジメント 丸山智子, 仲道雅輝(愛媛大学) 32名	FD 2901D はじめましょうアクティブラーニング ー橋本メソッドの事例からー 金西計英(徳島大学) 40名	FD・SD 共通 2901E 地域体験を学びに変える ー“どうしようもない”から 気づく力をつけるー 今城逸雄(高知大学) 30名	SD 2901F スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ ーキャリアを見つめるための自身の 可視化法ー 野口悟, 浜田昌代(高知大学) 32名
	2 13:00～15:30	シンポジウム 会場: 高知大学生生活協同組合 食堂スペース 大学人のためのリフレクション事始ー人材育成研究・実践のフロンティアから考えるー ファシリテーター: 中原淳(東京大学)/俣野秀典(高知大学) 200名					

連続受講が必須のプログラム

00名 プログラム定員

SPOD フォーラム 2014 シンポジウム実施要項（案）

1. 日 時 平成 26 年 8 月 29 日（金） 13:00～15:30
2. 場 所 高知大学朝倉キャンパス 学生生活協同組合 食堂スペース
3. タイトル シンポジウム「大学人のためのリフレクション事始
- 人材育成研究・実践のフロンティアから考える」
4. 概 要 近年、“リフレクション(振り返り)”が高等教育や人材開発界で注目されています。本シンポジウムは、大学人（教職員・学生）の成長を確かなものにするために（SPOD フォーラム 2014 サブテーマ）、人材育成研究および実践に関する最前線の事例を多数交えながら、リフレクションの意義・目的・効果・方法などを共有し、参加者の日々の実践においての振り返りのヒントに気づき、それを持ち帰ることを目的に実施されます。

5. スケジュール

※ファシリテーター：中原 淳（東京大学 大学総合教育研究センター 准教授）
俣野 秀典（高知大学 総合教育センター 講師）

- | | |
|-------|---|
| 13:00 | 開会挨拶（深見公雄・高知大学 理事） |
| 13:05 | シンポジウムの趣旨説明及びパネリスト紹介（俣野講師） |
| 13:10 | 概論、事例紹介、ミニ・リフレクション体験（75 分）
中原 淳（東京大学 大学総合教育研究センター 准教授） |
| 14:25 | 休 憩（10 分弱） |
| 14:35 | 現場での実践に向けた問いかけ、シナリオ作成（55 分）
俣野 秀典（高知大学 総合教育センター 講師） |
| 15:30 | 閉 会 |

FD・SD

プログラム番号 2902G

大学人のためのリフレクション事始

一人材育成研究・実践のフロンティアから考えるー

■講師



中原 淳（東京大学 大学総合教育研究センター 准教授）
 東京大学教育学部卒業、大阪大学大学院人間科学研究科、メディア教育開発センター（現・放送大学）、マサチューセッツ工科大学客員研究員等を経て、2006 年より現職。東京大学大学院学際情報学府准教授を兼務。大阪大学博士（人間科学）。「大人の学びを科学する」をテーマに、企業・組織における人々の学習・成長・コミュニケーション、リーダーシップについて研究。専門は経営学習論。著書に『職場学習論』『経営学習論』（東京大学出版会）などがある。



俣野 秀典（高知大学 総合教育センター 講師）
 北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科修了。地域科学研究会・高等教育情報センター研究員を経て、2009 年より現職。教育評価や教育方法を中心に、FD を含めた“Educational Development”に取り組む。教育プログラム開発部会長および課題探求実践セミナー分科会長として、課題探求型授業の開発・支援に携わる。専門は高等教育開発、ナレッジ・マネジメント（知識経営）。著書に『大学教員のためのルーブリック評価入門』（共訳、玉川大学出版部）がある。

■プログラム概要

近年、ブームと言ってよい程“リフレクション（振り返り）”が高等教育や人材開発界で注目されています。しかしながら、その意味や方法を理解し、実践している（組織として、教職員として、学生として）ケースはまだ少ないのが現状です。

そこで本シンポジウムでは、大学人（教職員・学生）の成長を確かなものにするために（SPOD フォーラム 2014 サブテーマ）、「リフレクションとは何か？」「リフレクションをどのように行えばよいのか？」に正面から向き合います。

シンポジウムの前半は、人材育成研究および実践に関する最前線の事例を多数交えながら、振り返ることの意義・目的・効果・方法などを共有し、参加者の日々の実践においての振り返りのヒントに気づく時間に充てられます。後半では、前半の内容を押さえつつ、現場（FD および SD の文脈）においてリフレクションを実践していくためのシナリオ（高等教育機関における最前線）を参加者全員の対話の中で創っていきます。

※リフレクション（reflection）は「省察」「内省」「振り返り」などと訳され、起こった事象や自身の行為を振り返ることを指します。

※このセッションは参加型で行います。セッションの最中、お近くの方とのディスカッションやエクササイズ等を行います。

■主な受講対象

学びにおける“リフレクション（振り返り）”とは何かを知りたい教職員
 組織の開発や自身の成長に関心のある教職員
 自身の授業で振り返りのプロセスを設けている／設けたい教員
 職場での業務に振り返りの手法を用いている／用いたい職員

■本プログラムの到達目標

1. リフレクション（振り返り）の目的を説明することができる。
2. リフレクションと参加者自らの体験を関係づけることができる。
3. 自らの組織／活動におけるリフレクション実施のヒントを持ち帰ることができる。

■日時・会場・受講定員

日 時：平成26年8月29日（金）13:00～15:30
 会 場：高知大学 朝倉キャンパス 高知大学学生生活協同組合 食堂スペース
 定 員：200名

展示スペース等の設置について（案）

1. 目 的：「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（S P O D）」におけるこれまでの取組や、S P O D加盟校の取組の成果物などの展示や、資料を配付することにより、広く取組を周知する。
2. 場 所：高知大学朝倉キャンパス 学生会館 1階
(高知大学生生活協同組合 ベーカリーカフェスペース)
3. 実施期間：平成26年8月27日（水）～8月29日（金）
※S P O Dフォーラム2014の開催に併せ実施
4. 実施方法：S P O Dの取組による成果物の展示、及びS P O D紹介DVDの放映等を行う。
また、S P O D加盟校からも取組の成果物や配付資料等を事前に送付してもらい、展示等を行う。
5. 募集方法：S P O D事務局より、取組の成果物の展示・配付希望の調査を行う（7/11〆切）。
※募集が多数の場合は、会場の都合でお断りすることもある。
6. 展示種別：教材、報告書、パンフレット、リーフレット、取組紹介DVDなど
7. 展示等準備：S P O Dの取組紹介の展示等についてはS P O D事務局が準備を行う。また、各加盟校の展示物等も、S P O D事務局にて行う。なお、展示物等は、着払いでS P O D事務局に送付する。
8. 展示物の返却：各加盟校から提供いただいた展示物等は、希望があればS P O Dフォーラム終了後、返送する。



主催 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク／高知大学／愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

SPODフォーラム2014

“気づき”と“振り返り”が大学を変える ～成長を確かなものにするために～

2014年 8/27 (水) ▶ 29 (金)

会場：高知大学朝倉キャンパス ▶MAPを見る

参加費：SPOD加盟校の教職員 無 料／SPOD加盟校以外の教職員 7,000円

(※懇親会費は除く)



申込受付期間 ※事前申込制(先着順)

SPOD加盟校の教職員限定受付：6月27日(金)正午～7月11日(金)正午

一般受付(SPOD加盟校の方も申込可)：7月15日(火)正午～7月29日(火)正午

※「SDコーディネーター養成講座」は、事前課題の都合上、7月25日(金)に締め切ります。

※「SPOD加盟校の教職員限定受付期間」に加盟校以外の教職員が申込みされた場合は、受講登録ができませんので、あらかじめご了承ください。

※SPOD加盟校＝四国地区の全大学・短期大学・高等専門学校



▼ 本フォーラムの実施にあたり参考とするため、下記の事前アンケートにお答えください。

※は必須項目です。

SPODフォーラムの参加は何回目ですか？※

1回目 ▼

1～6回目まで選択可

SPODフォーラムについてどこで知りましたか？※
(複数選択可)

- ☐ SPODホームページ
- ☐ SPODメールマガジン
- ☐ SPODフォーラムチラシ
- ☐ SPOD研修プログラムガイド2014
- ☐ SPOD関係者からの案内
- ☐ その他

SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？※
(複数選択可)

- ☐ 自分自身の能力開発のため
- ☐ 組織の課題を解決するヒントを得るため
- ☐ 組織を超えた人脈づくりのため
- ☐ FDやSDに関する情報収集のため
- ☐ 上司に参加をすすめられたため
- ☐ その他

シンポジウムのパネリストに質問したいこと、など
(700文字以内)

ファシリテーターに変更予定

各プログラムで学習したいこと、
期待していること、など
(500文字以内)

SPODフォーラム2014 アンケート（個別プログラム用）

機械で読み取りますので、筆記用具は 鉛筆かシャープペン を使用してください。
 あてはまる番号を 塗りつぶして ご回答ください。訂正する場合は 消しゴム でよく消してください。

1. 参加者ご自身について

(1) 所属先

- ① 大学 ② 短期大学 ③ 高等専門学校 ④ その他（ ）

(2) 所属先の設置者

- ① 国（国立大学法人） ② 地方自治体（公立大学法人を含む）
 ③ 学校法人 ④ その他（ ）

(3) 所属先の所在地

- ① 四国 ② 北海道 ③ 東北 ④ 関東
 ⑤ 中部 ⑥ 近畿 ⑦ 中国 ⑧ 九州・沖縄

(4) 職種

- ① 教員 ② 職員 ③ 学生 ④ その他（ ）

2. この研修について

- ④ そう思う ③ どちらかといえばそう思う ② どちらかといえばそう思わない ① そう思わない

設 問		回 答			
(1)	研修目的や内容についてある程度知った上で参加した	④	③	②	①
(2)	研修は自分の業務に生かせる内容だった	④	③	②	①
(3)	研修の到達目標が明確に示されていた	④	③	②	①
(4)	研修はわかりやすい順序ですすめられた	④	③	②	①
(5)	講師の言動は学習意欲を高めた	④	③	②	①
(6)	自分に必要な知識やスキルを身につけることができた	④	③	②	①
(7)	受講したことによって業務への取り組み方が改善されると思う	④	③	②	①
(8)	研修は全体的に満足できるものだった	④	③	②	①

3. この研修を受講して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

4. この研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

SPODフォーラム 2013 アンケートフォーム

SPODフォーラム2013ご参加いただき、ありがとうございました。
フォーラム全体について、率直なご意見をお聞かせください。

1. SPODフォーラムでの研修成果について

SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

所属組織を越えて人脈を広げることができた

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

業務や教育に対する意識や考え方が変わった

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

今後もフォーラムをはじめ、SPODが提供するプログラムに参加したい

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない

2. 感想、ご意見、ご要望等

SPODフォーラムに参加して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

SPODフォーラムをよりよいものとするために改善点があれば、具体的にお書き下さい。また、開催日程や会場等についてご要望がございましたら、あわせてお書き下さい。

SPODフォーラムで開講してほしい研修プログラムがあれば、具体的にお書き下さい。

SPODの事業全般についてご意見やご要望があれば、自由にお書き下さい。	

3. 参加者ご自身について

所属先	☐ 大学 ☐ 高等専門学校	☐ 短期大学 ☐ その他
所属先の設置者	☐ 国(国立大学法人) ☐ 学校法人	☐ 地方自治体(公立大学法人を含む) ☐ その他
所属先の所在地	四国 ▼	
職種	☐ 教員 ☐ 学生	☐ 職員 ☐ その他
あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？	☐ FDの実施担当者 ☐ FDとSD両方の実施担当者	☐ SDの実施担当者 ☐ FDやSDの実施担当者ではない

確認画面へ

リセット

Copyright (C) 2013 SPOD All Rights Reserved.

平成 26 年 5 月 22 日

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

企画・実施統括者 小林 直人 殿

JACET アカデミック&ティーチング・ポートフォリオ研究会

代表 中 山 晃

SPOD が主催するアカデミック・ポートフォリオ及び

ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップにおける後援について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、平成 26 年 4 月 1 日付けで大学英語教育学会（通称、JACET）における下部組織として「JACET アカデミック&ティーチング・ポートフォリオ研究会」（所属支部：中・四国支部，事務局：愛媛大学中山研究室）を設立しました。本研究会は、英語教育におけるアカデミック&ティーチング・ポートフォリオに関する調査・研究を行うことを目的としております。

つきましては、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）で実施している標記ワークショップが、アカデミック&ティーチング・ポートフォリオの普及・発展を図ることを目的とし、本研究会の趣旨・目的に合致しているため、平成 26 年度に開催する標記ワークショップにおいて、本研究会を「後援団体」とさせていただきたく、御検討のほどよろしくお願いいたします。

なお、御承諾いただいた場合は、本研究会から標記ワークショップへ積極的にメンターを派遣させていただきます。また、SPOD 加盟校外の本研究会メンバーが標記ワークショップを受講する場合には、規程の受講料を支払いますことを申し添えます。

ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ（西四国対象）実施要項（案）

- 1 日 時：平成26年9月17日（水）～18日（木）
※詳細調整中
- 2 場 所：愛媛大学城北キャンパス 愛大ミューズ3階 ※調整中
- 3 主 催：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）
- 4 後 援：JACET アカデミック＆ティーチング・ポートフォリオ研究会
- 5 目 的：ティーチング・ポートフォリオを実際に作成します。また、ティーチング・ポートフォリオを多くの教員に作成してもらうために、メンター養成を行います。
- 6 参加対象者：SPOD西四国（愛媛県，高知県）加盟校の教員
- 7 メンター：小林 直人（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室長 教授）
清水 栄子（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 助教）
※調整中
- 8 定 員：約20名
- 9 その他：本ワークショップは、同時並行でアカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップを実施します。

次世代リーダー養成ゼミナール実施要項

1. 目 的

将来、事務職員がトップリーダー（役員）や高等教育界のリーダーとして、大学等の経営を担うために必要な技能（実践力）・知識（理論）・態度を段階的に養成する。

2. 到達目標

【知識（理論）】

大学等の経営に必要となる以下のことができる。

- ・高等教育に関する知識・理論（高等教育論、高等教育史、高等教育政策・行政、教育関係法、教育財政）を応用することができる。
- ・経営管理・戦略、財政管理・戦略、危機管理に関する知識・理論を応用することができる。
- ・リーダーシップに関する知識・理論を応用することができる。

【技能（実践力）】

上記の知識を利用して、大学等の大局的な運営に必要となる以下のことができる。

- ・情報収集・分析を行うことができる。
- ・企画策定・提案を行うことができる。
- ・判断を行うことができる。
- ・折衝・調整を行うことができる。
- ・後継者育成を行うことができる。

【態度】

- ・学生を中心とした教育活動に積極的に働きかけることができる。
- ・立場の違う構成員と協力して働くことができる。
- ・地域や高等教育界のニーズに応えることができる。
- ・リーダーとしてふさわしい言動をとることができる。

※詳細については、それぞれの到達目標が、本ゼミナールのカリキュラムでどのように達成されるかの関係性を一覧にしたカリキュラムマップをご参照ください。

3. 開催日（期間）

（第2回） 平成26年7月17日（木）～19日（土） （徳島大学）

※次世代リーダー養成ゼミナールのプログラムは、2年間で2泊3日×8回実施する。

ただし、全体として必要時間数が確保される場合は、1泊2日とする場合がある。

平成26年度の開催予定

（第1回） 平成26年 5月22日（木）～24日（土）（愛媛）

（第3回） 平成26年11月 6日（木）～ 8日（土）（愛媛）

（第4回） 平成27年 1月22日（木）～23日（金）（香川）

4. 場 所

徳島市南常三島町2丁目1番地

徳島大学常三島キャンパス

共通教育6号館303・306講義室

5. 対象者

以下の条件を満たす者。

- ・ 40 歳以下を原則とする。
- ・ 各機関の長が推薦する者。
- ・ SPOD 加盟校の職員。
- ・ スタッフ・ポートフォリオを作成し、受講申し込み時に提出できる者。
- ※スタッフ・ポートフォリオ様式、記入要領等を送付しますので、ご参照ください。
- ・ 受講にあたっての抱負が明確であり、受講申込時に文書（400 文字程度）で提出できる者。
- ・ 専門職養成プログラム（専門教育・共通教育）のレベルⅡを修了した者、または、それと同等の能力があると認められた者。

※各機関においては受講者を選抜する段階で、面接等を実施してください。

※2 年間で修了要件である全日程の 9 割以上出席可能な人を推薦してください。

6. 募集人員

8 名程度（各機関より複数受講を希望する場合は優先順位を付す）

7. 講 師

桜美林大学心理・教育学系健康福祉学群	准教授	石渡尊子
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	教授	秦 敬治
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	講師	阿部光伸
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	講師	仲道雅輝
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	助教	清水栄子
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	特任助教	丸山智子
愛媛大学教育学生支援部	部長	吉田一恵

8. 修了要件

- ・ 全日程の 9 割以上出席。
- ・ 全ての課題（レポート、プレゼンテーション、ディスカッション、実践等）をこなし、合格すること。
- ・ 最終口頭試問で合格すること。
- ・ 全てのプログラムについて A～D の 4 段階で評価し、総合判定 A～C の評価を得ること。

※修了後は、SPOD の SD 講師に登録すること。

9. 主 催

主担当：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）事務局

協力校：高知大学

次世代リーダー養成ゼミナール（第2回）日程表

日時：7月17日（木）～19日（土）

場所：徳島大学 共通教育6号館303・306講義室

時間	(1日目) 7／17 (木)		(2日目) 7／18 (金)		(3日目) 7／19 (土)			
	4期生	5期生	4期生	5期生	4期生	5期生		
9:00	SPOD フォーラム プログラム 準備 講師 阿部 光伸		SPOD フォーラム 講義と講評 講師 阿部・仲道・清水・丸山・ 吉田 リーダー シップ論 & 実践Ⅱ 講師 秦 敬治		高等教育史 講師 桜美林大学 准教授 石渡 尊子		9:00	
12:00	昼食		昼食		昼食		12:00	
13:00	開講式		4期生によるSPOD フォーラム講義と講評 若手職員に贈る「仕事の魅力発見！」講座 「気づきから築くアクションプラン」 講師 秦・阿部・仲道・清水・丸山・吉田		SD 演習 講師 阿部 光伸 SPOD フォーラム 講師 仲道・清水・丸山・吉田		13:00	
プロジェクト 進捗報告 講師 阿部・仲道・清水・丸山・吉田							15:00	
15:00	SPOD フォーラム プログラム 準備 講師 阿部 光伸						15:00	
18:00							18:00	

（注）都合により、時間を変更する場合があります。

※色付き箇所の4講義につきましては、次世代リーダー養成ゼミナール受講生以外にも開放いたします。

学務系職員養成プログラム（レベルⅠ）研修実施要項

1. 目 的

SPOD加盟校の職員が高等教育機関の学務系業務担当職員として求められる専門的な素養を習得することを目的とする。

2. 到達目標

■キャリア支援入門

- ・キャリア教育の目的・必要性を説明することができる。
- ・どのようなキャリア教育が必要なのかを説明することができる。

■学生相談入門

- ・学生からの簡単な相談に適切な対応をすることができる。

■学生危機管理対応入門

- ・学生生活における危険性（ハラスメント、携帯電話・PC等のサイト、カルト、薬物等）を説明することができる。
- ・事件、事故、災害、ハラスメント発生時にマニュアルに沿った対応をすることができる。

■FD概論

- ・大学教育にFDが必要な理由を説明できる。
- ・職員がFDに関わる必要性を説明できる。

■教務担当職員のためのSD入門

- ・プロジェクト方式で学内SDの研修案を作成することができる。

3. 対象者

現在、学務系業務を担当している係員相当級の職員

今後、学務系業務に携わる意欲のある係員相当級の職員

4. 期 間

平成26年7月24日（木）～25日（金）

5. 場 所

四国大学交流プラザ4階第2セミナー室

<http://www.shikoku-u.ac.jp/institution/attached-plaza/>

6. 日 程

別紙「研修日程表」のとおり

7. 担当講師

徳島大学総合教育センター	講師	吉田 博
愛媛大学教育学生支援部	部長	吉田 一恵
四国大学教育・学生支援部教育支援課	課長	赤松 茂樹
松山大学学生課	課長補佐	松井 千代美
聖カタリナ大学・短期大学部入試課	課長補佐	新名 敏弘 他

8. 受講定員

30名

9. 修了証書

研修を修了した者には修了証書を交付する。

10. 主 催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）

四国大学

学務系職員養成プログラム(レベルⅠ)研修日程表

研修会場：四国大学交流プラザ4階第2セミナー室

		12:00	12:30	12:40	13:10	15:10	15:20	17:20	18:30
第1日目 7月24日 (木)			受付	開講式	四国大学 事務局 局長講話	「学生相談入門」 松山大学 学生課課長補佐 松井 千代美	休憩	「学生危機管理対応入門」 愛媛大学 教育学生支援部長 吉田 一恵	移動 懇親会
	8:50		10:50	11:00	13:30		15:30	15:45	
第2日目 7月25日 (金)		「キャリア支援入門」 聖カタリナ大学・短期大学部 入試課課長補佐 新名 敏弘	休憩	「教務担当職員のための SD入門」 四国大学教育・学生支援部 教育支援課長 赤松 茂樹	昼食	「FD概論」 徳島大学 総合教育センター 吉田 博	閉講式		

※研修スケジュールは、進行によって変更する場合があります。